

第4回吹田市地域公共交通会議（書面会議）の意見内容について

- (1) 住民説明会の応答で「法律で決まっている」と回答している部分が法ではなく省令、通達で決まっている点が散見される。

住民意見で料金の質問も多いグランドバス 65 の利用が考えられるが、阪急バスが受託することは決まっていないため、受託事業者の要件に、年間パスの発行の検討や阪急バスの乗継割引などの交渉を行うことなどを要件としてはと思います。

- (2) 交通空白地の解消が、今回のバスの検討の主な理由のひとつであると思います。住民さんからのご意見があった通り、バス停の間隔を縮めることは非常に重要なことなので、関係各所との協議を続けていただきたい。バス停圏は5-600mと言われている。（以前の会議資料にもそのように記載があった）が、急勾配地域かつ高齢者の利用を想定する場合は、実際的なバス停圏はより狭い範囲となる。新たなバス停を検討する上では、協議に時間を要すると思いますので、試験運行期間中にバス停間の距離を縮め、需要の前後比較ができるように、是非、協議を進めていただきたい。また、（バス停間隔が縮小できない場合は特に）併せてバス停へのアクセスのための歩道の状況についてもご確認いただき、必要に応じて安全性の向上や歩行時の負荷低減のご検討をしていただきたい。

運賃に関するご意見が一定数ありました。先行事例（すいすいバス）と同等の料金とすること自体には問題を感じないが、公平性の観点からすいすいバスへも導入されているサービスも同等にする必要があります。運行事業者次第ということもありますが、利用者目線で、不公平感が生じないようなサービス提供が必要だと思えます。

住民説明会では、運行時刻に関するご意見がなかったが、現状では特に問題視されていないとの認識でよいか。

- (3) 住民説明会の位置づけが「市と住民の意見の共有」となっていますが、参加した住民は、より良い内容で出発できるよう意見を反映したいと参加されたと思えますし、建設的意見も多く出ていました。

住民説明会で出された意見で、「ここを改善しました」と、報告できるものを、たとえ一つでも作りたい！その立場で、意見を述べます。

- ① 「運賃200円を、一区間の場合は100円にしてほしい」の声が多かったと記憶します。坂道の多い地域性から、一区間の乗車利用者が多いことも想像出来ますし、これは乗車率にも影響してきます。子ども・身障者は100円に倣って、「年齢75歳以上の高齢者」に限定するなど、一工夫して、一区間、または全区間100円など、実現してほしいです。

何もかも、すいすいバスに倣うことでなく、より改善していくことが大事です。

② 蒸し返しますが、地域バスとしては、停留所間が長いところ、特に NO12～NO13、NO14～15 は、ずっと気になるところです。乗車率にも影響します。

③ 「資料2, 13 ページ『試験運行の指標について』」ここでも、すいすいバスの運行基準の目安を持ってきていますが、「収支率30%、乗車率60%」は厳しい。千里丘と、今回の千里山のルートでは、地域性が違うことを以前にも述べています。

住民説明会でも、千里山ルートは「福祉バス」の視点を入れての要望が多くあったと思います。配慮がほしいところです。

実証実験時に、収支率・乗車率をだいたい所で算出したのであれば教えてください。

④ スケジュールがコロナで遅れていることは理解できますが、運行ルートが実証実験と変わらない現状では、せめて一日も早い実施を目指してほしい、スケジュール表の令和3年度中には実施できるよう関係者のご努力をお願いします。

(4) ダイヤに余裕がない。便数を減らす選択もあるのではないか。(パターンダイヤは分かりやすいが安全優先)

(5) 資料2の13頁5. 試験運行の指標について

収支率30%、乗車率60%は「且つ」なのか「又は」なのか明示した方が良いと思います。

(6) 国土交通省から交通安全上問題と思われるバス停留所の実態把握をするとともに、安全対策を講じる様にと通達が発出され、バス停の位置について交差点や横断歩道付近、坂の頂上付近、勾配の急な坂道等、交通の安全と円滑を阻害するおそれが無い場所を選定しなければならない。

(7) 多くの意見集約ありがとうございました。

まずは試験運行を目指し引き続きお願い致します。

豊中市との連携はとても楽しみです。

今後も他とのコラボ運行などが取り入れることが可能であれば検討願います。